

平成 28 年度 市政アンケートモニターへのアンケート

仙台市の広報に関するアンケート

調査結果報告書

平成 29 年 3 月

仙台市総務局広報課

I. 調査の概要

1. 調査の目的

広報紙「仙台市政だより」及び「市政ラジオ番組」、「仙台市広報課フェイスブックページ」について、市民がどのように認識しているかを知り、より有効に活用される広報のあり方について探る。

2. 調査の方法

- (1) 調査の対象 市政アンケートモニター 200名
- (2) 調査時期 平成28年12月
- (3) 調査の方法 郵送配布・回収及びインターネットによる無記名式調査

3. 回収結果

有効回答数 189人（回収率94.5%）

4. 報告書の見方

- ・集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100%とならないことがある。
- ・複数回答の設問及び複数回答者のあった設問については、回答比率の合計は100%を超える。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の概要

問1 あなたの性別をお答えください。

	回答数	構成比
男性	62	32.8%
女性	127	67.2%

問2 あなたの年代をお答えください。

	回答数	構成比
10～20 歳代	26	13.8%
30 歳代	33	17.5%
40 歳代	39	20.6%
50 歳代	32	16.9%
60 歳代	29	15.3%
70 歳以上	30	15.9%

問3 あなたはどちらの区にお住まいですか。

	回答数	構成比
青葉区	53	28.0%
宮城野区	35	18.5%
若林区	26	13.8%
太白区	39	20.6%
泉区	36	19.0%

問4 あなたのご職業をお答えください。

	回答数	構成比
会社員、団体職員等	50	26.5%
自営業(家族従業の方を含む)	7	3.7%
パート、アルバイト、非常勤等	25	13.2%
家事専業	59	31.2%
学生	9	4.8%
無職	36	19.0%
その他	3	1.6%

2. 設問別調査結果と分析

問5 必要な情報を得るため、あなたが普段利用している情報メディアは何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
新聞	130	68.8%
雑誌	69	36.5%
テレビ	164	86.8%
ラジオ	69	36.5%
インターネット	142	75.1%
フリーペーパー(「リビング仙台」、「河北ウィークリー」、「ぱど」など)	142	75.1%
その他	8	4.2%
無回答	1	0.5%

回答者数=189

○普段、情報収集のために利用しているメディアとして多いのは、「テレビ」(86.8%。前回77.0%)、「インターネット」(75.1%。前回67.0%)、「フリーペーパー」(75.1%。前回65.4%)、「新聞」(68.8%。前回66.5%)となっている。前回調査時(平成25年10月)より、テレビ、インターネット、フリーペーパーの利用がそれぞれ1割程増えている。

問6 あなたは仙台市や仙台市政に関する情報を何から得ていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
新聞	88	46.6%
テレビ	111	58.7%
ラジオ(市政ラジオ番組以外)	47	24.9%
市政ラジオ番組	16	8.5%
仙台市政だより	169	89.4%
仙台市ホームページ(パソコン版・携帯電話版)	50	26.5%
仙台市ソーシャルメディア(フェイスブック、ブログ、ツイッターなど)	10	5.3%
市政だより以外の市の印刷物(チラシ、パンフレットなど)	59	31.2%
地下鉄・バスの車内広告・電照広告や掲示板	58	30.7%
窓口や電話等で直接問い合わせる	10	5.3%
特にない	3	1.6%
その他	4	2.1%

回答者数=189

○市政情報収集に利用されているメディアは、仙台市政だより(89.4%)が圧倒的に多く、次いでテレビ(58.7%)、新聞(46.6%)、となっており、市ホームページは26.5%にとどまった。市の印刷物(31.2%)、車内広告・掲示板(30.7%)も、一定程度活用されている。前回調査時(平成25年10月)とほぼ同様の傾向にあるが、市ホームページは1割程減っている。「その他」は、「仙台市からのメール」(1人)、「窓口」(2人)、「友人等」(1人)であった。

問7 あなたは「仙台市政だより」を読んでいますか。いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
毎月、必ず読む(一部の記事のみも含む)	147	77.8%
必要に応じて読む	30	15.9%
ほとんど読まない	8	4.2%
読まない	4	2.1%

回答者数=189

○「必ず読む」(77.8%)、「必要に応じて読む」(15.9%)に対して、「ほとんど読まない」(4.2%)、「読まない」(2.1%)は合わせて6.3%にとどまった。前回調査時(平成25年10月)とほぼ同様の傾向である。

問8-1 「仙台市政だより」であなたがよく読む記事は何ですか？

あてはまるものすべてに○をつけてください。

(※問7で「必ず読む」または「必要に応じて読む」と答えた人のみ回答)

	回答数	比率
特集(市政の動きや市民に知っていただきたい情報を紹介)	121	69.1%
市政トピックス(市の事業や行事などの報告)	95	54.3%
市長コラム「杜のたより」	43	24.6%
市の計画を紹介します	60	34.3%
ワケアップ! 仙台(ごみ分別についてのコラム)	43	24.6%
お知らせ(保健福祉、募集、しごと、講座・催しなど)	146	83.4%
スポーツ情報	52	29.7%
市民センターの講座催しガイド	118	67.4%
区のお知らせ(保健福祉など)	100	57.1%
休日当番医	69	39.4%
GO! 東西線(地下鉄東西線に関する情報を紹介)	37	21.1%
その他	2	1.1%

回答者数=175

○「お知らせ」(83.4%)が最も多いのは、前回(平成25年10月、89.1%)及び前々回(平成22年2月、89.3%)の調査と変わっていない。また、市政の動きや市民に知っていただきたい情報を紹介する「特集」を読んでいる人の割合も今回69.1%で、前回62.3%、前々回70.6%とほぼ同様の傾向である。催し物情報を掲載している「市民センターの講座・催しガイド」(67.4%)、「区のお知らせ」(57.1%)、「市政トピックス」(54.3%)は約5~7割となり、「休日当番医」(39.4%)、「市の計画紹介」(34.3%)、「スポーツ情報」(29.7%)も約3~4割の読者を得ている。

問8-2 「仙台市政だより」を読まない理由は何ですか？

あてはまるものすべてに○をつけてください。

(※問7で「ほとんど読まない」または「読まない」と答えた人のみ回答)

	回答数	比率
必要な情報は新聞やテレビ・ラジオで得ている	4	28.6%
必要な情報はインターネットで得ている	3	21.4%
必要な情報が載っていない	0	0.0%
興味や関心がない	5	35.7%
内容がわかりにくい	1	7.1%
紙面が読みにくい	1	7.1%
情報量(ページ数)が多すぎる	0	0.0%
その他	3	21.4%
無回答	1	7.1%

回答者数=14

○「新聞やテレビ・ラジオで得ている」(28.6%。前回 42.9%)、「インターネットで得ている」(21.4%。前回 71.4%)と、別の手段で情報を得る人が前回調査時(平成 25 年 10 月)より大幅に減る一方で、「興味・関心がない」(35.7%。前回 28.6%)と答えた人が3割を超えた。「その他」は、「届かない」(2人)、「必要な情報は窓口で相談する」(1人)であった。

問9 現在の「仙台市政だより」についてどう思いますか？

それぞれ、いずれかひとつに○をつけてください。

①文字の大きさ

	回答数	比率
大きい	2	1.1%
ちょうどよい	167	88.4%
小さい	17	9.0%
無回答	3	1.6%

回答者数=189

○文字の大きさは、「ちょうどよい」(88.4%)が9割弱を占めた。

②ページ数(現在は 32 ページ)

	回答数	比率
多い	13	6.9%
ちょうどよい	161	85.2%
少ない	11	5.8%
無回答	4	2.1%

回答者数=189

○ページ数については、「ちょうどよい」(85.2%)とした人が8割を超えた。

③判型（現在はA4判）

	回答数	比率
もっと大きいほうがよい	7	3.7%
ちょうどよい	176	93.1%
もっと小さいほうがよい	2	1.1%
無回答	4	2.1%

回答者数=189

○判型については、「ちょうどよい」（93.1%）とした人がほとんどであった。

④写真やイラスト

	回答数	比率
多い	1	0.5%
ちょうどよい	141	74.6%
少ない	43	22.8%
無回答	4	2.1%

回答者数=189

○写真やイラストの分量については、「ちょうどよい」（74.6%）が最も多かったが、「少ない」（22.8%）とした人も2割強あった。

⑤言葉づかい

	回答数	比率
わかりやすい	62	32.8%
ふつう	119	63.0%
わかりにくい	5	2.6%
無回答	3	1.6%

回答者数=189

○言葉づかいについては、「ふつう」（63.0%）、「わかりやすい」（32.8%）が合わせて9割以上を占めた。一方、「わかりにくい」とした人は2.6%だった。

問 10 現在の「仙台市政だより」の印象についてどう思いますか？

あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
役に立つ	151	79.9%
親しみやすい	34	18.0%
わかりやすい	80	42.3%
楽しい・面白い	11	5.8%
内容がかたい	42	22.2%
つまらない	14	7.4%
表現が難しい	14	7.4%
その他	10	5.3%
無回答	1	0.5%

回答者数=189

○市政だよりの印象としては、「役に立つ」(79.9%)が最も多く、次いで「わかりやすい」(42.3%)であった。一方で、「内容がかたい」(22.2%)が2割強あったほか、「つまらない」、「表現が難しい」もそれぞれ7.4%と1割弱あった。

問 11 今後「仙台市政だより」で扱ってほしい情報はどのようなものですか？

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

	回答数	比率
市の事業の紹介や制度の解説など	53	28.0%
市の施設の紹介や利用方法など	96	50.8%
健康、育児、教育など生活に役立つ情報	86	45.5%
講座や催し、展示会などのイベント情報	127	67.2%
スポーツ、レジャー、観光などに関する情報	73	38.6%
自然、風土やまちの歴史	38	20.1%
地域の話題や出来事	42	22.2%
地域で活躍する人やグループの情報	37	19.6%
歳時記、随想などの読み物	10	5.3%
その他	4	2.1%
無回答	2	1.1%

回答者数=189

○今後、市政だよりで扱ってほしい情報としては、「イベント情報」(67.2%)が最も多く、次いで「市の施設の紹介や利用方法」(50.8%)、「生活に役立つ情報」(45.5%)、「スポーツ、レジャー、観光情報」(38.6%)であった。また、「地域の話題・出来事」(22.2%)、「自然・風土、まちの歴史」(20.1%)、「地域で活躍する人・グループ」(19.6%)など、地域の話題についての希望もそれぞれ2割程度あった。「その他」は、「ブラタモリの仙台編のような情報」、「同規模程度の自治体や友好都市の取り組み施策などの紹介」、「悩み相談(市で起きた事に関すること)」、「犬・猫の里親募集」(各1人)であった。

問 12 年々、市の催しや募集などのお知らせ情報が増えており、「仙台市政だより」にすべてのお知らせを掲載することが困難になっています。また、発行にかかる経費や、冊子が重くなることによる町内会等の配布の負担が増加することから、ページ数を増やすことも難しい状況です。今後の「仙台市政だより」をどうするのが最も望ましいと思いますか？

いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
特集やトピックスなどのページ数を減らして、すべてのお知らせを載せる	43	22.8%
催しやスポーツなどのお知らせは、別の印刷物にして公共施設などで配布する	31	16.4%
全市民に必要な情報を優先し、対象人数の少ない催しなどの情報は省略する	47	24.9%
掲載できない記事は、雑誌・フリーペーパーなどに掲載する	49	25.9%
その他	23	12.2%
無回答	2	1.1%

回答者数=189 ※複数回答者 4 名

○増加するお知らせの新たな掲載方法については意見が分かれた。「雑誌・フリーペーパーなどに掲載」(25.9%)、「対象者の少ない催しなどを省略」(24.9%)、「特集やトピックスのページを減らす」(22.8%)、「催しなどのお知らせを別に印刷」(16.4%)の順であった。

○その他の意見等については、3. その他意見・自由意見の概要へ

問 13 仙台市ホームページに「仙台市政だより」の内容を掲載していることを知っていますか。また、見たことがありますか？ いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
知っており、よく見る	10	5.3%
知っており、見たことがある	49	25.9%
知っているが、見たことはない	61	32.3%
掲載していることを知らない	69	36.5%

回答者数=189

○「知っているが、見たことはない」(32.3%)、「掲載していることを知らない」(36.5%)と、市ホームページで市政だよりを見ていない人が合わせて7割近くとなった。一方で「よく見る」(5.3%)、「知っており、見たことがある」(25.9%)は、合わせて3割程度となった。

問 14 「仙台市政だより」の発行には、年間約 1 億 8 千万円かかっています。インターネットの普及が進む中、現在発行している冊子の「仙台市政だより」の必要性についてどう思いますか？
いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
インターネットから情報入手できれば、冊子による広報は必要ない	16	8.5%
公共施設や地下鉄の駅などに置いて、ほしい人が入手できればよい	59	31.2%
インターネットが利用できない家庭にだけ配布すればよい	26	13.8%
今までどおり各家庭に配布すべきである	65	34.4%
その他	24	12.7%
無回答	1	0.5%

回答者数=189 ※複数回答者 2 名

○冊子の市政だよりの必要性については、「今までどおり各家庭に配布」が 34.4%と、前回調査時（平成 25 年 10 月。69.6%）より大幅に減少した。一方、「公共施設等に置いて、ほしい人が入手」（今回 31.2%、前回 12.6%）、「インターネットが利用できない家庭にのみ配布」（今回 13.8%、前回 8.4%）のように部分的に配布することを選んだ人が 4 割を超え、前回よりも増加した。「必要ない」とした人は 8.5%（前回 4.7%）にとどまった。

○その他の意見等については、3. その他意見・自由意見の概要へ

問 15 現在、「市政ラジオ番組」で仙台市からのお知らせ等を放送しています。聞いたことのある番組はありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
「仙台市民だより」	22	11.6%
「ジョイフル SENDAI」	31	16.4%
「せんだいラジオ通信」	8	4.2%
聞いたことがない	138	73.0%
無回答	1	0.5%

回答者数=189

○市政ラジオ番組を「聞いたことがない」（73.0%）が大多数を占めた。聞いている番組は、「ジョイフル SENDAI」（16.4%）、「仙台市民だより」（11.6%）、「せんだいラジオ通信」（4.2%）の順であった。

問 16 今後「市政ラジオ番組」で扱ってほしい情報はどのようなものですか？

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

	回答数	比率
市の事業の紹介や制度の解説など	50	26.5%
市の施設の紹介や利用方法など	65	34.4%
健康、育児、教育など生活に役立つ情報	75	39.7%
講座や催し、展示会などのイベント情報	115	60.8%
スポーツ、レジャー、観光などに関する情報	67	35.4%
防災に関する情報	70	37.0%
その他	15	7.9%
無回答	3	1.6%

回答者数=189

○今後、市政ラジオ番組で扱ってほしい情報としては、「イベント情報」(60.8%)が最も多く、次いで「生活に役立つ情報」(39.7%)、「防災に関する情報」(37.0%)、「スポーツ、レジャー、観光情報」(35.4%)、「市の施設の紹介や利用方法」(34.4%)、「市の事業の紹介や制度解説」(26.5%)であった。「その他」としては、聞かないのでわからないと回答した人がほとんどであった。

問 17 仙台市広報課では、市政に関する情報を写真や動画付きでタイムリーに提供することを目的に、平成 25 年 8 月に「仙台市広報課フェイスブックページ」を開設しました。

<https://www.facebook.com/sendaipr/>

※インターネット上の検索サイトで、「仙台市広報課フェイスブック」で検索できます。

「仙台市広報課フェイスブックページ」を知っていますか。また、見たことがありますか？

	回答数	比率
知っており、よく見る	2	1.1%
知っており、見たことがある	12	6.3%
知っているが、見たことはない	37	19.6%
開設していることを知らない	137	72.5%
無回答	1	0.5%

回答者数=189

○広報課フェイスブックページについて「開設していることを知らない」(72.5%)、「知っているが、見たことはない」(19.6%)と、見たことがない人が9割を超えた。

問 18 今後、「仙台市広報課フェイスブックページ」に掲載してほしい情報はどのようなものですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
市の事業の紹介や制度の解説など	49	25.9%
市の施設の紹介や利用方法など	74	39.2%
健康、育児、教育など生活に役立つ情報	78	41.3%
講座や催し、展示会などのイベント情報	95	50.3%
スポーツ、レジャー、観光などに関する情報	75	39.7%
防災に関する情報	63	33.3%
わからない	35	18.5%
その他	12	6.3%
無回答	3	1.6%

回答者数=189

○今後、広報課フェイスブックページで扱ってほしい情報としては、「イベント情報」(50.3%)が最も多く、次いで「生活に役立つ情報」(41.3%)、「スポーツ、レジャー、観光情報」(39.7%)、「市の施設の紹介や利用方法」(39.2%)、「防災に関する情報」(33.3%)、「市の事業の紹介や制度解説」(25.9%)であった。一方、「わからない」(18.5%)とした人も2割近く見られた。

○「その他」は、「見ない」(7人)、「ホームページの広報との違いがわからない」、「リンクを多く貼って欲しい」、「今まであったことを知らなかったが特に不自由がなかったのでなくても困らない。しかし今後の災害時は情報収集の役に立つかもしれないと期待はある」、「対市民だけのツールではないので、何とも言えない」「助成金などもホームページではわかりにくいので、時々特集してほしい」(各1人)であった。

問 19 市の広報に対するご意見やご要望がありましたら、ご記入ください。

→ 3. その他意見・自由意見の概要へ

3. その他意見・自由意見の概要

(1) 問12 市政だよりの掲載方法 その他意見

- ・日時、タイトルだけにしてインターネットを活用したらよいと思う
- ・情報一覧だけ載せて詳細のわかるホームページのリンクを載せると、見たい人だけがアクセスできるようになる
- ・必要に応じて、インターネットを活用する（他2件）
- ・掲載出来ない分はウェブページに載せるのがお金もかからずよいと思います。市政だよりにはURLを記載するほか、電話で問い合わせも出来ればよい
- ・インターネットと両立を図る。詳細についてはQRコードを掲載しておく。ネット環境が無い場合は問い合わせで十分。高齢者もスマホやケータイを普通に持っている時代。特に若い方が欲しい情報については、QRコードで十分だと思います
- ・一部の詳細記事は電子化して市のホームページに記載する。遠い将来は紙を全廃して、一般企業のようにメール化とWEB化する。紙一枚程度で市政だよりをPRする
- ・市の催しや募集は公共性のあるものは市民には平等に知る権利があると思うので、問12の項目だと情報格差が生じるのではないのでしょうか。カラーのページを減らすなど今の市政だよりを維持し、どう知らせるかを考えることが望ましい
- ・全市民には必要ないが、対象者がいる程度いる催しやスポーツなどのお知らせを別の印刷物にして、スーパーや郵便局、銀行、コンビニなどで配布、もしくは設置してもらう
- ・市役所・区役所、市民センターなど公共施設のチラシ設置コーナーに一元的に設置しておけばよいと思います。並行して、市役所などのホームページに「市の催しや募集などのお知らせ情報」としてアップしておけばよいと思います
- ・催しの開催を減らす
- ・市の催しや募集などのお知らせ情報は、急ぐ情報は市政だよりに載せ、それ以外の募集情報は2か月から半年等まとめて別冊にして配布してどうか
- ・ネーミングライツ等、広告収入を得て充実した紙面の構成を図る
- ・児童、高齢者等、対象が年齢で区切れるものは、別メディアを利用するか、市政だよりの「はさみこみの別ページ」にしてはどうでしょうか
- ・仙台市が告知したいもの、全市民に知らせたい情報をメインに毎月テーマを決めて掲載し、それ以外はラジオ、テレビ、雑誌、フリーペーパーに掲載する
- ・マンションの不用印刷物入れにそのまま捨ててあるのを目にするので「入用の方、お持ち下さい」等と出来ないのでしょうか。特に学生アパートなどはそのまま入っておりもったいないです。
- ・載せるべき情報をブラッシュアップしつつ、読み物的なページを削減し、市民に必要なお知らせを掲載する。「対象人数が少ない＝不必要な情報」ではないと思います
- ・若干のページ増はやむを得ないと思う
- ・新聞と一緒に配布する。取っていない人は他の配布場所で受け取ってもらう（コンビニ等）
- ・現在のスタイルが最も良いと思います
- ・町内会を通さずにポスティング業者等の配布を考える
- ・経費増は仕方がない

(2) 問14 冊子の市政だよりの必要性 その他意見

- ・高齢者に向けて配布は必要だと思います。低所得者向け共同住宅などにも配布した方がよい。団塊世代以下の一般家庭などに向けては配布しなくてもよいと思う
- ・年間1億8千万の経費は100万都市世帯数(4人家族平均)で年間720円です。市民としては、他の赤字財政が垂れ流されている現状の方が気になります。インターネットの普及が進むという分析は、市民レベルで数値化できているのでしょうか
- ・全戸に配布するのは負担が大きいと思われるので、マンション、アパートなどはエントランスなどに設置し、必要な人が持っていくようにする。そのほか、公共施設や地下鉄の駅などに置いてほしい人が入手するようにできれば良いと思う
- ・インターネット掲載情報が見やすく検索性が高い作りなのであれば配布は不要かもしれないが、定例時期に印刷物が手元にあった方が読む可能性は高い。また、必要と思っている高齢者がどこかにもらいに行くというのは困難なので、今までどおり各家庭への配布がよいと思う
- ・年間にかかる経費の現状を通達し、希望世帯のみに配布する。インターネットやラジオで情報を得るということを知らない人が沢山いると思います
- ・経費節減のためには広報をインターネットに移行するのも良いように思うが、冊子だから見るというのもあると思う。冊子にして配布しているのに見ないために情報を得なかったのと、インターネットのページを見ないことで情報が発信されていたことに気付かないのは少し違うように思う。各家庭のスマホやパソコンに市政だよりの情報は発信されているが、活用するかどうかは受け手が決める状況。現時点では冊子をなくすのは難しいと思う
- ・SNSなどで情報が得られて、希望しない家庭には配布しないようにする
- ・区役所・市民センター等で余っているのがある。配布方法をもう一度見直すべきである
- ・希望する人へのみ配布すれば良いと思う(他1件)
- ・インターネットの利用ができる、できないに関わらず、希望者へのみ配布する
- ・インターネットか冊子か選べるようにする
- ・欲しいか否かをアンケート等で調べて、必要な家庭へのみ配布すれば良い
- ・インターネット利用できない家庭に配布し、かつ、公共施設・郵便局に置く
- ・公共施設や地下鉄の駅、コンビニなどに置いて、ほしい人が入手できればよい
- ・各地区、組合で必要な家庭へのみ配布
- ・インターネットを受信できない家庭への配慮が足りない(家では見る事が出来るが親世代は見られない環境である事が多い)
- ・早めに回覧で回していただければ良いと思う。休日診療など、見たいページは簡単に印刷できるようにしてほしい
- ・全戸配布に代え、町内会掲示板やコミュニティセンターに備え付けるなどにすればよい
- ・1億8千万円の使い方による。もし、どうでもいい(ムダな)事に使うなら、今までどおり各家庭に配布して欲しい
- ・いらないと意思表示させ、その家庭には配らない。地下鉄駅や市民センターなどに置く必要はないと思う
- ・インターネットを利用できない人にも配慮し、発行を続けてほしい

(3) 問 19 自由意見の概要

【市政だよりの発行について】

- ・市政だよりは読んだら捨ててしまっているの、紙でやりくりする必要はないと思います
- ・印刷物としてのコストが市政を圧迫するならば、ネット化してしまうのもよいと思う
- ・理想は市民一人一人に確実に情報が届けられることだと思います
- ・発行までに相当の費用を要することはわかるが、これまで通り各家庭へ配布することにより、各家庭と市行政とのつながりが継続されるのではないかと思う。欲しい人だけ、見たい人だけでは寂しい気がする
- ・ページ数が多くなれば、読む気がなくなると思います。周知すべき情報を厳選し、紙ベースでの配布継続がいいと思います
- ・「仙台市政だより」の発行には、年間約1億8千万円かかっていることに驚きました。パソコンなど紙以外で情報が取れる人には発行しなくても良いと思いました。削減した経費でぜひ「所得制限なしで子どもの治療費を無料」にして欲しいです
- ・インターネットでわざわざ情報を取得しにアクセスしないので、紙の市政だよりは必要不可欠だと思います
- ・メールマガジンなど、必要に応じて、ネットを活用するのがいいと思う
- ・IT化は必要と思うが、市政を紡ぎ繋ぐ事業は、アナログでも残して欲しいと思う
- ・SNSなどの利用を拡大する
- ・広報課に地域の情報（ニュース・写真）が届くシステムをつくられてはいかがですか
- ・ラジオやインターネットだと、市の事業や制度の解説は分かりにくいし、効果的でないと思う。少し難しい話は、やはり紙媒体でじっくり読む方が良いのではないか
- ・市政だよりにそんなに費用がかかっているとは知らなかった。やめていいと思う。班長が各家庭に配布するというシステムもやめてほしい。子供がたくさんいるのに配る時間がないし、子供だけでお留守番させているが何かあったとき怖いので
- ・市政だよりをよく読む年齢層は、インターネットやフェイスブックなどあまりやらない人が多いのでは？ 必要な情報が簡単に何度でも読み返す事が出来るのが冊子の良い所なのでは？
- ・市政だよりの発行には金額がかかり、配布の負担もあるかとは思いますが、ホームページやフェイスブックを見る事のできない年配の方等もたくさんいらっしゃると思うので、これからも配布が必要だと思います
- ・どの部分により費用がかかるのでしょうか？（制作費？印刷費？紙代？写真？配布の費用？）内訳を示して検討すると良いのではないのでしょうか。市政だよりの読み方（活用の仕方）について、学校を巡回して伝えるとか、有用であることを伝える活動はあっていいと思います
- ・インターネットを使うことができないので、市の情報は市政だよりを頼りにしています。1年分保管して、必要な時見返すことができるようにしています。インターネットは高齢の方は使えない方が多いと思いますので、やはり印刷された市政だよりはずっと発行していただきたいと思います
- ・市政だよりに1億8千万の費用には驚きました！ 徹底して無駄を除く努力が必要です。高齢者が増える現状をふまえ、従来の対応を見直ししていくべきだと思います。（例：市営の交通機関を格安で乗車できる制度などは廃止すべきです）
- ・文明の利器（インターネットとか）に遠く、広報などが頼りです

- ・東日本大震災の時にパソコン、プリンター等を壊してしまい、その後、インターネットの無い生活をしています。今の時代、必要な情報を得るために、パソコンやスマホは必要なのだろうと思いつながら、使わないでいます
- ・市政だよりは楽しみにしております。1億8000万とは驚きました。問14の②の方法（公共施設や地下鉄の駅などに置く）を提案します。捨てられているのを目にします。廃止することなく配布の方法を考えて下さい。インターネットを利用出来ない高齢者には大切なものです
- ・インターネットの利用の少ない高齢者や必要な方にのみ市政だよりを配布すれば良いと思います。しかし、配布されない方が全く市のことに興味を持たなくなる人も出てくると思うので、回覧を回して見る機会はほしい
- ・市民にも積極的に情報収集する人とそうでない人がいると思います。また、積極的に情報収集したくとも出来ない人（身体が不自由だったり、インターネット関係の設備が無い等）もいると思います。全ての市民に伝える事は難しいかもしれませんが、情報を得る機会を等しくする努力はあって良いのではないかと思います
- ・市政だよりは、子育て情報を主に大変重宝していますが、需要を伴わない配布が行われている事も見聞きしていますので、見直す必要はあると思います
- ・市政だよりは重要な情報を中心としてもっとスリム化し、経費を削減した方が良いと思います。高齢者はインターネットやフェイスブックを利用して市の情報を得るとは思えません。紙での情報提供は必要と思います
- ・スポーツ情報、レジャーなどは、生活に密着性が少ないので公共施設に設置。万人に必要な文化・教育や休日当番医、公営住宅、小学校入学情報、市職員の求人などはそのまま掲載して頂きたいです
- ・スマホ対応が多くなっていますが、私は紙でお願いしたいです
- ・若い人はともかく、中・高・老年はフェイスブックはまだまだだろう！急がず、全市民に情報が届くようにしてほしい！
- ・A4～B5サイズにしてページを増やしてもいいのではないかと思います
- ・広報は必須なものであるが、受け手の環境が様々であり、ひとつに統一は難しいと思う。市政だよりの役割、ホームページの役割を別々にしてもいいのでは。他県他市の人は仙台市の市政だよりの配布がなく、かつ観光の情報も知りたいので、ホームページならではの利用法などがあると思う。市政だよりは町内会を通すのはあまり賛成できない。月が変わって数日後に配布されることもあり、どうかと思う。町内会にお金を出すより、業者に頼んだ方が安くなると思います（配布されない時があり区役所に知らせたら、町内会費を払っていないのではと見当違いな返答をされた事もあるので）
- ・お年寄りなどはインターネットを使わない人もいるので、今まで通り家庭配布を存続した方が良いと思います（なかなか外出しないと思われるので）
- ・高齢化する現在、インターネットに載せるのは良いが、ペーパーでも読まなくなるようになっていくのを良く聞く。地域で集まる機会も少ないので、町内にいながら町内会に属さない人々をもっと義務づけにしてはどうか
- ・市の広報は全市民に平等に情報を伝えるものと考えます。情報化が進みインターネット、フェイスブックなどが盛んですが、高齢者にもわかる文字情報も、これまで通り必要だと考えます
- ・仙台市政だよりの予算を削減する為にペーパーレス化をする場合、休日当番医などはインター

ネット配信のみにしないでほしい。ライフラインに関わる事以外はインターネット配信のみでも良いが、休日当番医など、緊急を要する情報やライフラインに関わる重要なことは、紙面で各家庭に配布した方が良い

- ・フェイスブックなどの SNS の発信もいいと思うが、紙の方が子育てのすき間時間に見られてよいので、両方にしてほしい。毎月市政だよりを楽しみにしています

- ・ホームページでは見ることに気づかないままになってしまうので、何らかの形では紙面で見たい。回覧で回ってきたら確認のためインターネットを見るが、回ってくるのが遅いと情報が意味のないものになってしまうので、早めに回るようにできればそれでいいと思う

- ・市民センター等に置けば必要な人が見ると思います。自分はスマホで情報を得ているし、配布は月初めのはずだが、配布が遅れて講座の申し込み期間が2度間に合わなかったことがあり、それ以来利用していません。そのまま資源ゴミに回す家庭も相当数あると思われます。必要であれば、どんな手段でも情報を入手する事ができます

- ・1億8千万も費用がかかっているとは知りませんでした。市政だよりが来ると必要項目を切り取り、カレンダーと日記帳に書き込み、1ヶ月の予定表を作ります。機械に弱い高齢者のため、聞き逃しがなく、活字で何度もくり返し読める紙面も残して下さい

- ・仙台市政だよりの冊子の必要性は現時点ではあると思いますが、近い将来にはインターネットからの情報でいいのではないかと思います

- ・市政だよりをきちんと読んでいる世代は50代~90代で、紙面をインターネットにするのは不可能ではないか。若い方はスマホや携帯で自分の知りたい情報のみをピックアップして利用している。各地下鉄に置いてある市政だよりは、ほとんどの方が利用してないので止めるべきではないか。費用がかかっている点では、個別に配るのではなく班の回覧(1部のみ)にしてはいいか。各町内会に設置しているゴミ回収場所に貼っておくのもどうでしょうか

- ・私はまだ歩けるので地下鉄の駅や公共施設で手に入れる事が出来るが、町内会配布が一番の問題だと思います。必要な人は手を上げ、必要でない人には配布しないようにして経費の削減をすれば、相当の金額が浮くと思います。町内会に丸投げになっている気がします。2億近い金額にビックリです

- ・老人夫婦だけの家庭があり、インターネットも使用出来ない状況で生活している人達がおりますので、そういう人達に情報が行き届くよう配慮願います

- ・インターネットを利用できない人も市の情報が得られるよう、印刷物の発行は今後も縮小させずに続けて欲しい

- ・仙台市政だよりの発行経費が想像以上の金額と知り驚きました。生活に密着している情報源なので必要なものだと感じています。問14で2(ほしい人が公共施設などで入手する)を選びましたが、高齢者の方々などの事を考えると難しい問題だと思いました。配達経費などを抑えられる方向性があればと思います

- ・発行費用にびっくりしました。あまり読まなくても、あつてあたり前のいわば「市民の証し」のような意味合いがあると思うので、全世帯配布が基本だと思います。私自身は全て目を通していますが、それは印刷物であるからゆえで、ネットでは見ようとは思いません。ネットありきの大前提は時期尚早かと思います。とは言え、自身の経験からも、あまり必要と感じていない世帯もあると思いますので、年度初めに必要か否か申告してもらおう形をとる方法もあると思います

- ・広報誌は毎回かかさず時間がある時にゆっくりじっくり見えています。発行に1億8千万かかっ

ていることに今回初めて知りました。広範囲な情報を知ることができるので、できるだけそのまま続けて欲しいです。特集、トピックスを減らし、区のお知らせを増やして欲しいです

・わが家では、新聞をとっていないため、毎週「ウィークリー仙台」をとり地下鉄駅にっています。市政だよりも駅においてありますね。「別冊市政だより」などとして、名所のご紹介、イベントの紹介などを載せたものを駅におく…というのはいかがでしょうか

【市政だよりの内容について】

- ・表紙の写真がいいと思います
- ・お知らせの記事には必ず連絡先が明記されているので、助かります
- ・仙台市政だより、いつも見えています。ただし、内容が少しかたいと感じています。市政をオープンにする事は大切です。街中や駅に置いて、必要な人が手に取れば良いと思います
- ・可能であれば仙台市にある名所・旧跡などを、月に1つでも良いので紹介してほしい。最近「東口散歩みち」に参加し、案内してもらいながら見て歩く機会があり、初めて知った場所がたくさんありました。市内に住んでいても、知らない名所がこんなにあるのかと改めて驚きました
- ・年代別など対象者を分けた形で情報発信してほしい
- ・市政だよりは本当に大切な情報です。特に高齢者などネットを使えない層には必要な物と考えます。仙台市職員を目指す大学生にとっても必修のアイテムになっています。広報については、内容は良いと思いますが、もう少し他県や外国に情報を提供することも必要かと思います。外国に行くとき東京や京都と違い、「仙台とは」から説明しなければなりません。広報の必要性は今後ますます高まると思います
- ・いつも市政だよりを頼りに、配布されると同時に隅々までチェックし活用しています。とても役に立っています。どの項目も短い文字の中に最低限必要な情報がしっかりと含まれていて、素晴らしいと感じています。これからもたくさんの情報提供をお願いします
- ・総合的になり過ぎているので、整理した方が良くと思います。行政機関として公共性の高い項目に絞って掲載して行くべきかと思います。具体的には、問18の1（市の事業の紹介や制度の解説）、2（市の施設の紹介や利用方法）、6（防災に関する情報）程度が良いと思います。その他はホームページか公共施設のチラシ設置でよいと思います
- ・外郭団体が主催する行事についても 毎月の予定を載せてほしい（例：東口まちあるきなど）
- ・転勤族の方の為の情報コーナーも増やしてほしい
- ・防災情報は詳しくわかりやすく流してほしい
- ・若者に対する支援情報が少ない
- ・市政だより、毎月読ませていただいています。表現が固く、内容がいまいち頭に入らないこともあります。もう少し分かりやすく、イラスト等を増やしイメージしやすくしてほしいです
- ・市政だよりの内容が濃いのはよいが、少し年配の方向けに偏っているので、もう少し若者向けにイラストやイベントも増やした方が見ると思います
- ・市政だよりの仙台市からの大切な告知が、いろいろな情報にうもれてしまっている気がします。大切なお知らせは、催し物の前にまとめて目に付くようにあった方が良くのではないのでしょうか
- ・重要性のメリハリをはっきりさせること
- ・小さい子どもがいるので当番医は欠かさずチェックしています。発行するにあたり莫大な経費がかかっていることを知り、驚いています。表紙は写真やカラーではなくとも良いと思います

- ・休日（土日）に参加出来る講座が少ない気がする
- ・子供が小さい時に休日当番医などを気にしていたが、今はほとんど利用していない。これから必要とする老人ホームや介護等の情報を知りたいし、もう少しアピールして欲しい
- ・仙台市の「市政だより」は内容が良くまとまっていると思います（他の市は知りませんが）。編集者等の方々の努力に感謝します
- ・市政だよりに博物館の割引が付いていますが、他の館のものもあつたらよいのではないのでしょうか。講座などで、こんなものにもお金がかかるのかと思うものがありました。以前の方が無料講座が多かったのではと思います
- ・ゴミの特集ばかり多い気がする。ゴミ減量も重要なことだと思うが、教育や福祉など他の特集もしてほしい
- ・くまなく取り上げられていて解り易いです
- ・①字が小さく、読みにくい、②もっと広告を入れて費用削減すればどうか、③今年度の市の計画に対する進捗状況を判りやすく入れてほしい、④よいところばかりでなく、問題点（借金の多さ、動物園の赤字など）も市民に知らせるべき

【ホームページについて】

- ・ホームページが見づらい
- ・今までインターネットを知らなかったので、宣伝した方がいいと思う。これからは、フェイスブックを見たいと思います
- ・役所の分類だからなのか、ホームページから必要な情報を探しても、欲しい情報にたどり着きにくい。ホームページを作る際にあまりインターネットに慣れていない人や市民にもプレテストなどで使い勝手を確認して作られていると良いと思う

【その他】

- ・ラジオだけではなく、市政テレビ（NHK や民放も含めて）はできないものでしょうか
- ・公共施設に置いてある広報のポスターやチラシは立派なきれいなものが多く、役に立ったり興味を持つものが多い。しかし情報が重要ではあるが大量にチラシが残っているのをみると、もう少し紙の質等お金がかからない方法で必要枚数をその都度印刷等できればよいのと思う（枚数予想が難しいというのもよくわかります）
- ・市の広報について特にありません。現状で良いと思います。
- ・市政だよりが届かないので届けてほしい

※注: 市政だより等の各ご家庭への配布については、町内会に加入されている場合は各町内会より、町内会に加入していない集合住宅へはポスティング業者により配布を行っております。ご自分の地区の町内会の確認方法や町内会への入会方法等につきましては、お住まいの区のまちづくり推進課にお問い合わせください。住所をお伝えいただければ、お調べいたします。また、町内会に加入していない集合住宅の場合は、管理会社から仙台市広報課へポスティングのお申し込みをいただければ、ポスティングにて市政だよりを配布することも可能です。